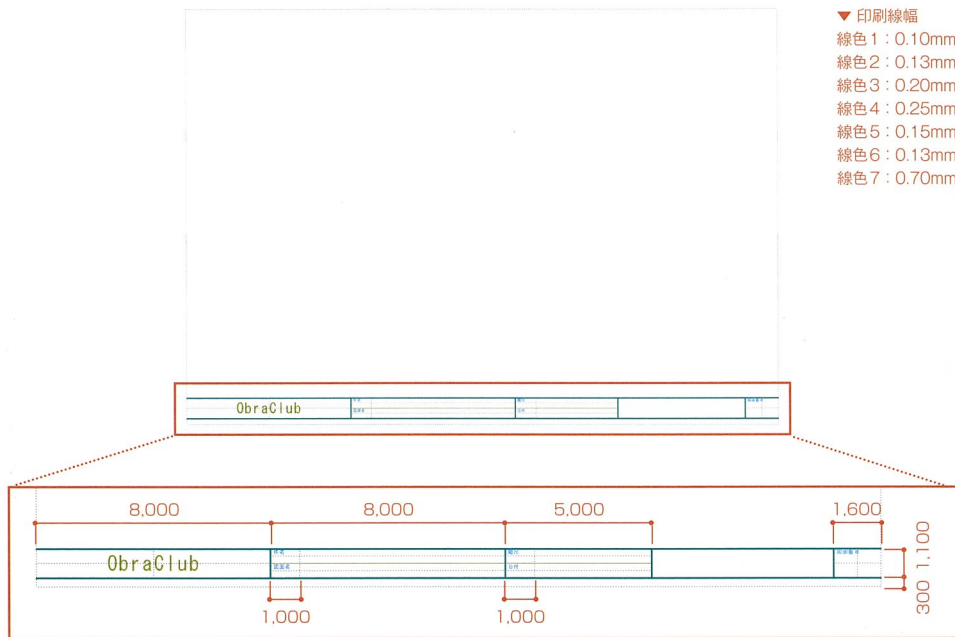


2・2

図面枠の作成

縮尺 1/100 の A4 用紙に下図の図面枠を作図しましょう。作図した図面枠は次節「2・3」で作図する図面の雛形として利用するため、線色ごとの印刷線幅(右表参照)や文字種ごとのサイズ、寸法設定などを行ったうえで、ファイル名「a4waku」として保存します。

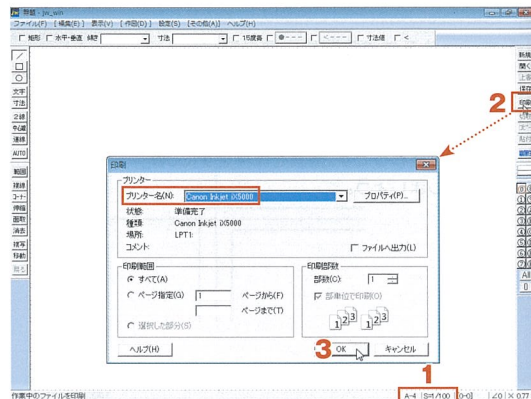
- ▼印刷線幅
- 線色 1 : 0.10mm
 - 線色 2 : 0.13mm
 - 線色 3 : 0.20mm
 - 線色 4 : 0.25mm
 - 線色 5 : 0.15mm
 - 線色 6 : 0.13mm
 - 線色 7 : 0.70mm



1 印刷範囲枠を補助線で作図する

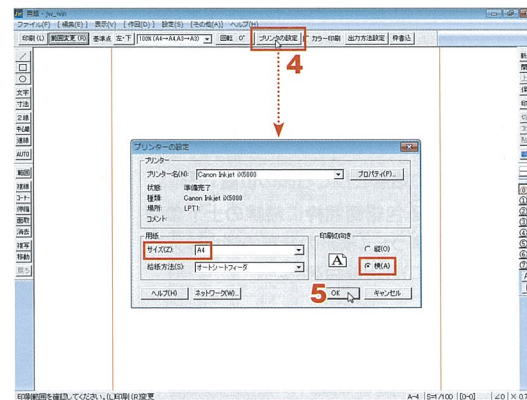
●印刷時に表示される印刷範囲枠の大きさは、印刷に使用するプリンタ(またはプロッタ)の機種により異なります。はじめに、縮尺 1/100 の A4 用紙枠内に、使用するプリンタの印刷範囲枠を補助線で作図しましょう。

- 1 用紙サイズ A4、縮尺 1/100 に設定する。
- 2 「印刷」コマンドを選択する。
- 3 表示される「印刷」ダイアログで「プリンター名」が使用するプリンタであることを確認し、「OK」ボタンを巴。



⇒ 3 で確認したプリンタの用紙サイズ、印刷の向きで、印刷範囲枠が表示される。

- 4 用紙サイズと印刷の向きを確認、変更するため、コントロールバー「プリンタの設定」ボタンを巴。
- 5 表示される「プリンターの設定」ダイアログで、用紙サイズ「A4」、印刷の向き「横」を選択し、「OK」ボタンを巴。



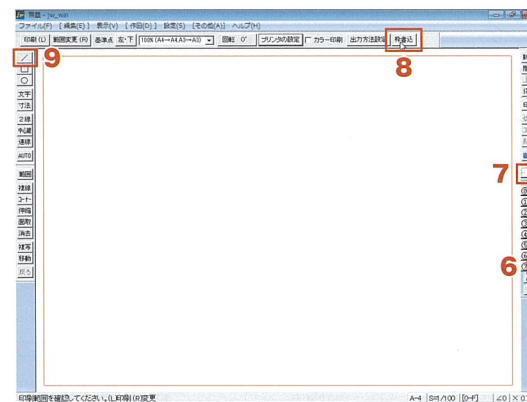
⇒ A4 横の印刷範囲枠が表示される。

●表示されている印刷範囲枠を「F」レイヤに「線色 2・補助線種」で作図しましょう。

- 6 レイヤバーの「F」レイヤボタンを巴し、書込レイヤにする。
- 7 書込線を「線色 2・補助線種」にする。
- 8 印刷範囲枠が作図ウィンドウの中央に表示されていることを確認し、コントロールバー「枠書込」ボタンを巴。

⇒ 印刷範囲枠が線色 2・補助線種で作図される。

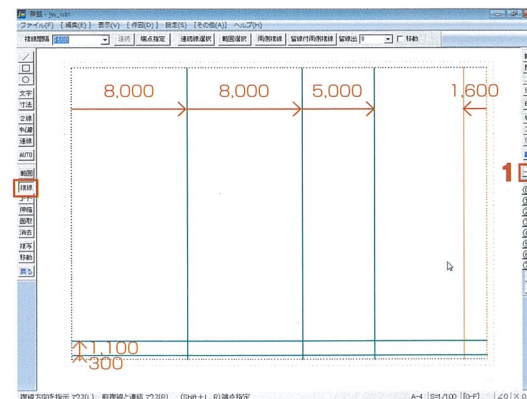
- 9 「/」コマンドを選択し、「印刷」コマンドを終了する。



2 図面枠を作図する

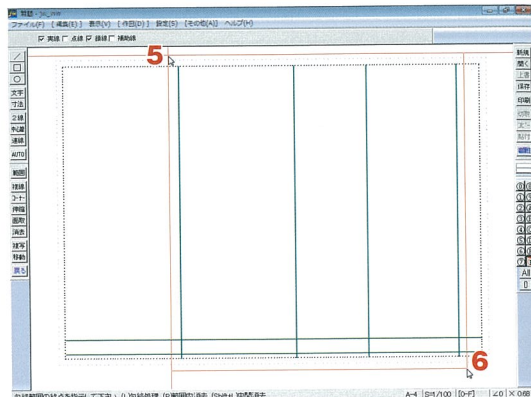
●前項で作図した印刷範囲枠内に、線色 7・実線で図面枠を作図しましょう。

- 1 書込線を「線色 7・実線」にする。
- 2 必要に応じて、[縮小] で、作図ウィンドウを縮小表示する。
- 3 「複線」コマンドを選択し、補助線で作図された印刷範囲枠の左辺・右辺・下辺から、それぞれ右図の間隔で複線を作図する。



●横線から上下に突き出ている縦線部分を処理し、4本の縦線を2本の横線間に収めましょう。ここでは「包絡処理」コマンドを使います。

- 4 メニューバー [編集] - 「包絡処理」を選択する。
- 5 包絡範囲の始点として右図の位置で円。
- 6 表示される包絡範囲枠に縦線の上下の端点が入るように(横線の左右の端点は入らないように)囲み終点を円。



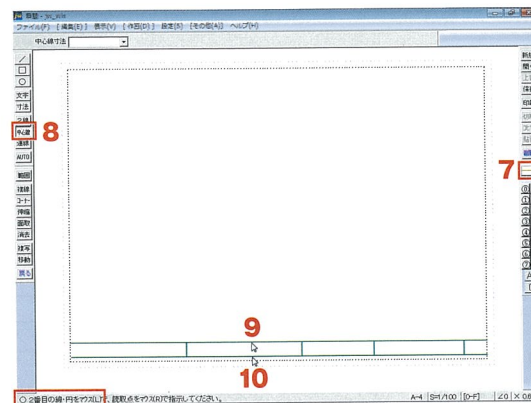
⇒ 右図のように包絡処理される。

●2本の横線の中心線を線色4・実線で作図し、件名・図面名などを記入する欄を作りましょう。

- 7 書込線を「線色4・実線」にする。
- 8 「中心線」コマンドを選択する。
- 9 1番目の線として上の横線を円。

POINT 「中心線」コマンドで線と線の中心線を作図する場合は、対象とする線を円で指示します。

- 10 2番目の線として下の横線を円。



⇒ 9と10の中心線の作図位置が確定し、操作メッセージは「始点を指示してください」になる。

- 11 始点として右図の交点を円。
- 12 終点として右図の交点を円。

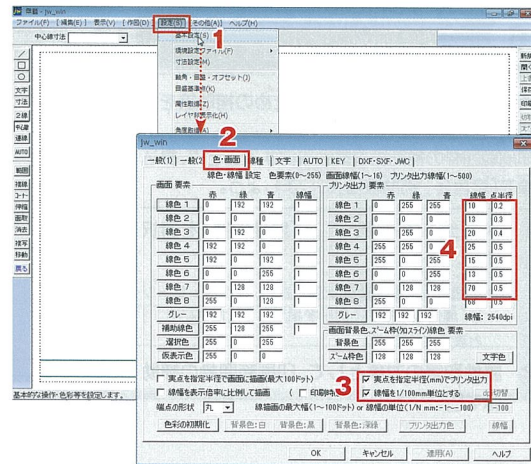
⇒ 9と10で円指示した2本の線の中心線が11から12まで作図される。



3 線色ごとの印刷線幅を設定する

●線色ごとの印刷線幅 (mm) と点半径を設定しましょう。線色1:0.10 線色2:0.13 線色3:0.20 線色4:0.25 線色5:0.15 線色6:0.13 線色7:0.70

- 1 メニューバー [設定] - 「基本設定」を選択する。
- 2 表示される「jw_win」ダイアログの「色・画面」タブを円。
- 3 「実点を指定半径 (mm) でプリンタ出力」と「線幅を 1/100mm 単位とする」にチェックを付ける。
- 4 「線色1」～「線色7」の線幅と点半径を、右図のように指定する。



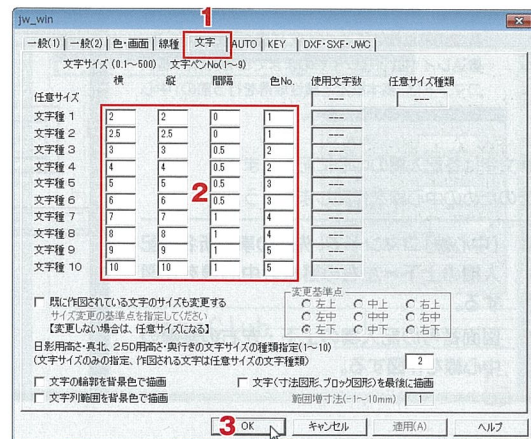
4 文字種1～10のサイズ設定を確認する

●文字種1～10のサイズ設定を確認しましょう。

- 1 「文字」タブを円。
- 2 「文字種1」～「文字種10」の文字サイズ (横・縦・間隔) が右図の数値 (初期値) であることを確認する。右図と異なる場合は、数値ボックスを円し、同じ数値に変更する。

POINT 文字サイズの変更は、数値ボックスを円し、既存の数値を消したうえで指定数値を入力します。

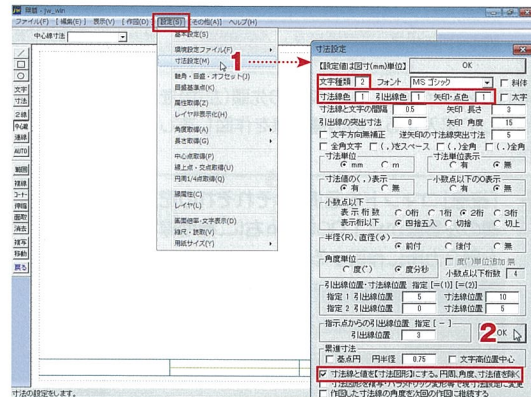
- 3 「OK」ボタンを円。



5 寸法設定を行う

●寸法の設定を行いましょ。寸法の設定はメニューバー [設定] からでも選択できます。

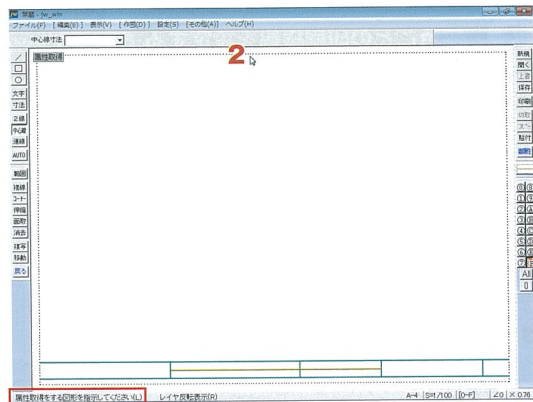
- 1 メニューバー [設定] - 「寸法設定」を選択する。
- 2 表示される「寸法設定」ダイアログで、「文字種類」を「2」、「寸法線色」を「1」、「矢印・点色」を「1」に指定する。「寸法線と値を [寸法図形] にする...」にチェックを付け、「OK」ボタンを円。



6 文字の記入位置を指示するための補助線を作成する

●文字の記入位置を指示するための補助線を各記入欄に作成します。印刷範囲枠の補助線を属性取得することで、書込線を「線色2・補助線種」にしましょう。

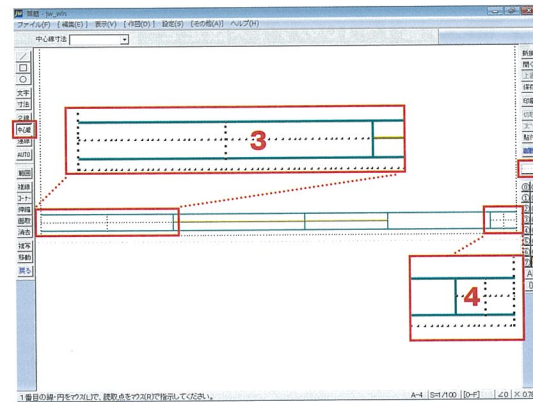
- 1 メニューバー「設定」-「属性取得」を選択する。
⇒画面左上に「属性取得」と表示され、操作メッセージは「属性取得をする図形を指示してください(L)」と表示される。
- 2 属性取得の対象として、印刷範囲枠の補助線を囲む。



⇒書込線が囲まれた線と同じ「線色2・補助線種」になる。2の補助線は「F」レイヤに作成されているため、書込レイヤは「F」レイヤのままである。また、選択コマンドは、基本設定と属性取得を行う前の「中心線」コマンドのままである。

●文字は各記入欄の中心に記入します。そのための中心線を作成しましょう。

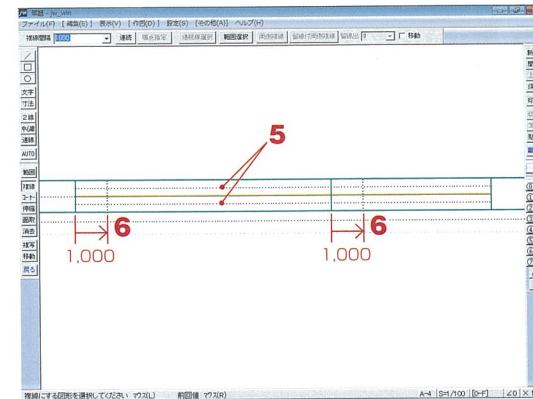
- 3 「中心線」コマンドで、先頭の事務所名の記入欄の上下・左右の罫線の中心線を作成する。
- 4 図面番号の記入欄の上下・左右の罫線の中心線を作成する。



- 5 図面名などの記入欄の上下の罫線の中心線を作成する。

●図面名などの記入欄に、文字の先頭(左中)を基点として記入するための補助線を作成しましょう。

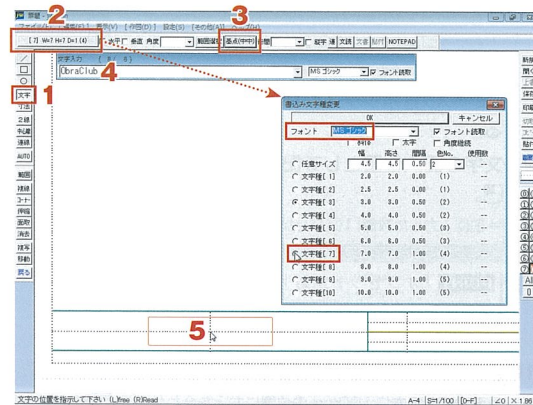
- 6 「複線」コマンドを選択し、それぞれの記入欄の左罫線から1,000mm右に、補助線を右図2カ所に作成する。



7 事務所名記入欄に事務所名を記入する

●事務所名を文字種[7]で記入しましょう。

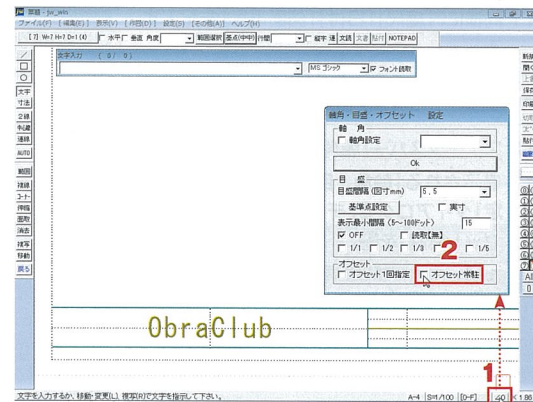
- 1 「文字」コマンドを選択する。
- 2 コントロールバー「書込文字種」ボタンを囲み、表示される「書込み文字種変更」ダイアログでフォントを「MSゴシック」に指定し、「文字種[7]」を選択する。
- 3 コントロールバー「基点」ボタンを囲み、文字の基点を「中中」にする。
- 4 「文字入力」ボックスに事務所名(右図は「ObraClub」)を入力する。
- 5 文字の記入位置として先頭の事務所名記入欄の補助線の交点を囲む。



8 オフセットを利用して項目名を記入する

●記入項目名の「件名」「図面名」「縮尺」「日付」「図面番号」は、各記入欄の左上角から右に100mm離れた位置に、文字の左上を合わせて文字種[1]で記入しましょう。ここでは記入位置を囲むための補助線は作成せず、オフセット(相対座標指示)機能を利用して記入します。

- 1 ステータスバー「軸角」ボタンを囲む。
- 2 表示される「軸角・目盛・オフセット 設定」ダイアログの「オフセット常駐」を囲む。
⇒オフセット常駐設定(解除するまでオフセットが有効)になり、ダイアログが閉じる。

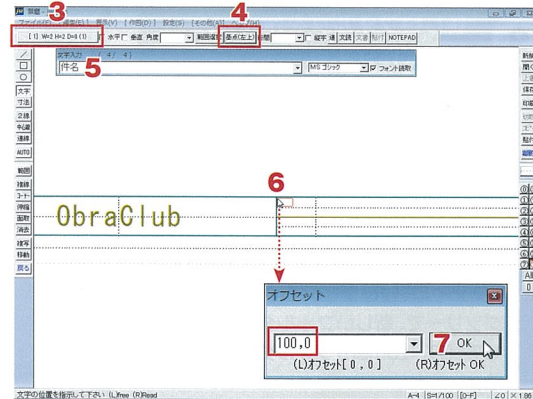


- 3 書込文字種を文字種[1]にする。
- 4 基点を「左上」にする。
- 5 「文字入力」ボックスに「件名」を入力する。
- 6 文字の記入位置として記入欄の左上角を囲む。

⇒「オフセット」ダイアログが表示される。

POINT 「オフセット」数値入力ボックスに6の点を0(原点)としたX,Y座標を「,」(半角カンマ)で区切って入力することで、6の点から横にX、縦にY離れた位置を文字の記入位置にできます。X,Y座標は原点から右と上は+(プラス)、左と下は-(マイナス)数値で指定します。

- 7 「100,0」を入力し、「OK」ボタンを囲む。



⇒6の点から右に100mm(X=100,Y=0)の位置に文字基点の左上を合わせ、「件名」が記入される。

8 「文字入力」ボックスに「図面名」を入力する。

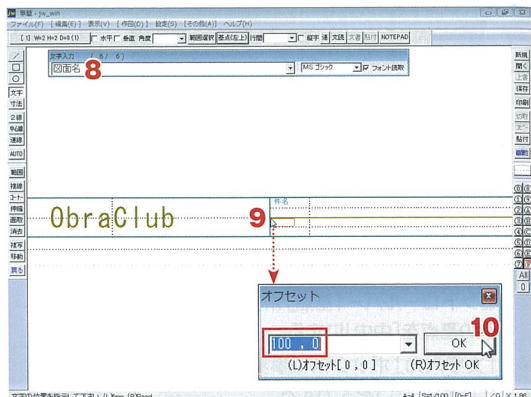
9 文字の記入位置として記入欄の左上角を囲む。

⇒前回入力した数値「100,0」が色反転された状態で「オフセット」ダイアログが表示される。

POINT 「オフセット常駐」を指定したため、常駐を解除するまでは、点指示時に常に「オフセット」ダイアログが表示されます。

10 「OK」ボタンを囲む。

⇒9の点から右に100mmの位置に左上を合わせ、「図面名」が記入される。



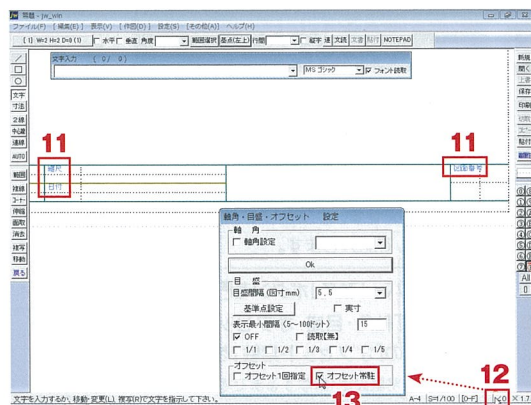
11 同様に、「縮尺」「日付」「図面番号」を記入する。

●オフセット常駐を解除しましょう。

12 ステータスバー「軸角」ボタンを囲む。

13 表示される「軸角・目盛・オフセット 設定」ダイアログで、チェックの付いた「オフセット常駐」を囲む。

⇒「オフセット常駐」が解除され、ダイアログが閉じる。

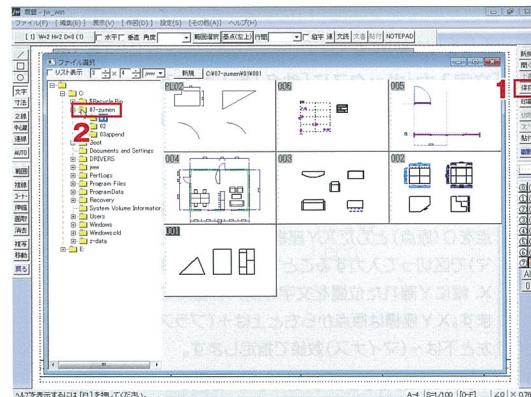


9 新しいフォルダを作成し、図面を保存する

●「07-zumen」フォルダ内に新しいフォルダ「hozon」を作成し、そのフォルダに図面を名前「a4waku」として保存しましょう。フォルダは「保存」コマンドを選択し、図面ファイルを保存する前に作成します。

1 「保存」コマンドを選択する。

2 「ファイル選択」ダイアログ左側のフォルダツリーで、新しいフォルダの作成場所として「07-zumen」フォルダを囲んで選択する。



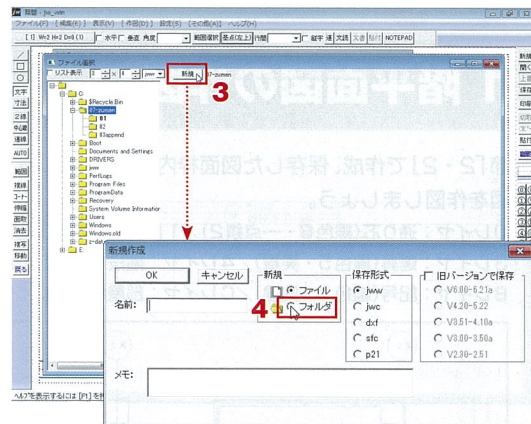
⇒「07-zumen」フォルダが開く。

3 「新規」ボタンを囲む。

⇒「新規作成」ダイアログが表示される。

4 「新規」欄の「フォルダ」を囲んで選択する。

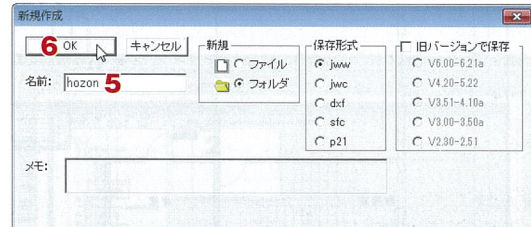
POINT 「新規」欄は通常「ファイル」が選択されています。「フォルダ」を選択することで、現在開いているフォルダ内に新しいフォルダを作成します。



5 「名前」ボックスを囲み、フォルダ名として「hozon」を入力する。

6 「OK」ボタンを囲む。

⇒「07-zumen」フォルダ内に「hozon」フォルダが作成され、保存場所として開いた状態になる。図面の保存操作は継続している。



●作成した「hozon」フォルダに図面を名前「a4waku」として保存しましょう。

7 作成した「hozon」フォルダが開いていることを確認し、「新規」ボタンを囲む。

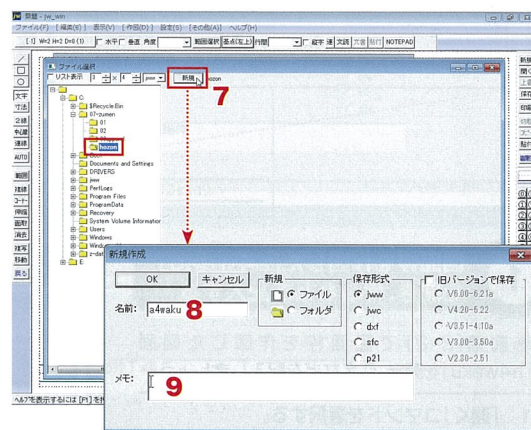
⇒「新規作成」ダイアログが表示される。「新規」欄は「ファイル」が選択されている。

8 「名前」ボックスに「a4waku」を入力する。

●「メモ」ボックスに図面ファイルの補足説明を入力できます。「A4図面枠」と入力しましょう。

9 「メモ」ボックスを囲む。

⇒「メモ」ボックスで入力ポインタが点滅し、日本語入力が有効になる。



10 「メモ」ボックスに「A4図面枠」を入力する。

11 「OK」ボタンを囲む。

⇒「hozon」フォルダに「a4waku」が保存される。

